

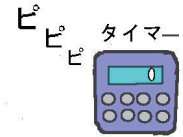
日々の行いを振り返り、気づいたことや感じたことを書き出してあげれば、その結果に至った原因が明確になります。良い結果をもたらした行いは繰り返しやれば、また良い結果を生むでしょう。また、悪い結果をもたらした行いは2度とやらないように注意すれば、次には同じ失敗をしないで済みます。手帳を利用して、指導の質を向上させていきましょう。

指導の工夫について、たくさんの意見を今回も頂きました。ここでは、その一部を紹介したいと思います。

問題点：丁寧だけど、計算スピードが遅い

タイマーを使って、時間を計りながらやる！

素晴らしい改善策です。キッチンタイマーなら百円均一ストアなら 100 円で購入できます。
是非、タイマーを利用して指導してみてください！



問題点：1 週間の間に、前回やったことを忘れてしまう

1日1ページなど、毎日振り返られるように宿題を出す

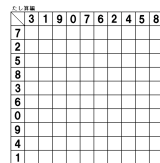
忘れることよくありますよね。「先週の教えたことは何だったんだ！」思わず憤ることも…。苦手なことほど毎日やるようにさせると効果的です。是非、継続して実践させてください。



問題点：説明不足の回答を作る時がある

1つ1つの問題でしっかりとした答案を書かせる

説明書きなどを省略しようとする子は本当に多いです。しっかり書かせることは非常に大事なので、省略しようとしたら毅然とした態度で臨んでください。説明書きの重要性について一度話をし、その時に、ちゃんと説明書きを書くことを約束するとよいと思います。



問題点：計算ミスが多い

見直しを徹底させる。位上げの時に注意させる

計算ミスは、演習量不足と注意力不足で起きます。間違いが起きた時にその間違いを紙などに書き残すようにすると、注意力を鍛えることができます。演習量不足は、毎日ドリルなどで演習を繰り返す行くと解消されます。百ます計算などもよいかも知れません。

問題点：どのような時にどのような計算をすればいいかわからない

絵や図を使って説明する。同じタイプの問題を何回も解かせる

絵や図を使うことは非常に大事です。図を書いたり、グラフを書いたりするだけで、解法がひらめくことはよくあることです。図の書き方や解き方の順番をきちんと伝えて、生徒にまとめさせるのもよいかも知れません。



問題点：(生徒自身が)自分のレベルを把握できていない

模試の結果を見て話をする

スラムダンクで、安西先生が、桜木花道（主人公）にシュート練習をさせる時に言った「下手糞の上達者への道のりは、己の下手さを知りて一步目」という言葉を思い出しました。現在地を確認させるということは非常に重要です。そして、目標にたどり着くためには何をしなければならないかを明確にしてあげることも非常に大事です。ちなみに、スラムダンクでこの時、安西先生は、桜木花道にシュート2万本を課しました。

「指導方針・今回のひと工夫」の欄には、前回の指導で気づいた問題点を解決する方法を毎回書くようにすると、指導の効率性や質がどんどん向上します。

また、今回の手帳を提出してくれた方の中には、この欄に、「指導前にプレゼンをして声を出す」「体操を取り入れる」などのアイスブレイキング（息抜き）の内容も書いていた方がいました。指導がうまくいかない時や眠たそうにしている時などは、積極的にアイスブレイキングを取り入れると、気持ちの切り替えができたり、眠気が覚めたりするので、是非、そのような指導の工夫も取り入れてみてください。

手帳の良い事例を是非紹介させてください。これは、皆さんの刺激にもなると思います。

今回提出していただいた手帳も、大変よく書き上げられたものがたくさんありました。今回は、 さんの手帳をご紹介します。勉強を教えることだけではなく、コミュニケーションも家庭教師には大切なことなんだと改めて感じました。

何をやったかだけではなく、生徒の感情や自分の感情などについても具体的に書くと、それを読むだけでその時の指導の風景が鮮明に蘇ります。そうすれば、より密度の高いコミュニケーションをとることも可能になるなあと　　さんの手帳を見ながら感じました。

指導手帳は、指導開始 1 ヶ月後、3 ヶ月後にお願いしています。翌月 5 日までにご提出ください。ベストプラクティスの紹介も随時行っています。なので、毎回提出していただいても OK です。